

令和4年度

事業報告

社会福祉法人 松豊会

令和4年度 社会福祉法人松豊会 事業報告

1. 基本理念・運営方針

松豊会の法人理念「やすらぎのある生活、その人がその人らしく、地域と共に」を支援の方向性として共有化し実践することで、福祉サービスの質の向上と、経営の透明性の確保を図りました。また、社会福祉の中心的な担い手として地域社会に対する社会福祉法人の責務を果たす。

2. 中長期事業報告

(1) 法人運営の安定

日常の業務に加えて、新型コロナウイルス感染者の対応や感染対策に追われました。

新型コロナウイルス感染症発生時には、介護サービスが安定的、継続的に提供できるように、毎日、ミーティングを開き、情報共有や感染予防対策の徹底を図りました。

慢性的な人員不足と感染対策の緊張感の中、必ず終息すると信じ、日々、感染者の回復と感染が拡大しないことを願い、全職員でコロナ感染症拡大対策を最重点課題として取り組みました。また、保健所や行政機関のご指導、ご助言やご家族、地域の方の温かいねぎらいのお言葉が励みとなり、士気を下げることなく事業を継続して行くことができました。

利益の確保については、訪問事業は職員の減員より件数は減少しました。居宅支援事業は介護予防の方が増え件数は増加しました。特養は、ご入居者の重度化に伴い、入院や退所が増え稼働率が下がりました。空床期間短縮を図るために、長期短期入所の割合を増やし、入居に繋げるよう努めましたが、予想以上の入院者と、コロナ禍で入居の調整に時間を要し、補うことができません。結果、短期入所の稼働率は過去にないほど下がりました。

今後も、事業の継続と発展のために機動性、収益性を高めていきます。また、徹底した予防対策を行いながら、法人が有する施設や設備、職員を活用し、社会福祉法人の責務を果たしていきます。

(2) ご利用者に対する基本姿勢

常にご利用者やご家族の立場に立って、個人の尊厳や個性に配慮したサービスが提供できるよう、ご家族に電話や手紙で定期的にご様子をお知らせしたり、アンケートを実施しご要望を伺い改善を図りました。また、施設サービス計画についても、ご利用者やご家族の意向を踏まえた課題分析について、勉強会を開催したり、事前カンファレンスで課題の共有を図りました。

安全管理（虐待・身体拘束・事故リスク）への取り組みとして安全管理委員会を中心に毎月、分析や評価を行い、再発防止のために介護職員、看護師を中

心に研修会や指導的職員の勉強会を重ねましたが、対策が十分に実行できず事故件数は増加しました。ご入居者の重度化に伴い事故に直結しやすい状況もありますが、できる限り事故を回避できるよう適切なケアに努めます。また、虐待については、発生事例はありませんでしたが、「虐待の芽チェックリスト」を活用し不適切ケアを改善するよう努めました。今後も、個人の尊厳を守りながら、リスク管理を強化し、事故防止に努めていきます。

(3) 地域社会に対する基本姿勢

コロナウイルス感染症が拡大する中、地域共生会議を開催することは、出来ませんでした。自治会の会合やイベントに出来るだけ参加し、地域の福祉ニーズの把握に努めました。しかし、機会も少なく十分ではありませんでした。また、法人の有する施設設備や職員を活用して交流を図ることも難しい状況が続く中、地域の中で公的サービスと協働して支え合い穏やかな見守りにより暮らしが継続できるセフティネットを構築するには至りませんでした。

地域の方と協働で行う総合訓練は実施できませんでしたが、引き続き自治会との防災協定書を締結し応援協力をお願いしました。施設内では、感染防止策を徹底して、火災時や土砂災害時の避難訓練を実施し有事に備えました。

(4) 福祉人材に対する基本姿勢

訪問介護では、介護福祉士の実習生の受け入れ行い、福祉人材の育成に努めました。現役世代の減少に伴い実習生も少なく、福祉人材の確保は一層難しい状況です。採用については、有料人材紹介会社を活用し「採用」に結びつけることはできますが、多額の経費が掛かり安易な活用は出来ません。対応策として、業務内容や責任に応じた雇用を検討し、シルバー派遣事業を活用し、3名の方を週2～3日（4時間/日）雇用しています。また、働く時間や曜日を個別に考慮した雇用も行っています。今後、さらに多様な人材や働き方を推進する必要があると考えます。

職員の定着・育成については、新入職員を精神的にサポートする「エルダー制度」を活用することで、一定の効果が見られました。さらに定着を図るためには、賃金の改善が必要と考えます。賃金規程や人事考課規程、職掌等級制度規程の見直しを進め、より働きがいのある職場になるよう進めていきます。

ICTの活用による職員の負担軽減については、介護ソフトを導入しました。事務業務の効率化を図り、職員の職場環境の改善に努めました。また、業務の効率化だけでなく、サービスの質の向上にも直結すると考え運用していきたいと考えます。

(5) 法令遵守等

制度や危機管理に対応するために、必要な法令の理解や改正への対応を速やかに行いました。また、全職員に対して会議や研修で周知を図り、高い倫理性

と知識を持ち業務が適正に遂行されるよう努めました。

(6) 法人役員会の開催 (別紙：松豊会役員会実績)

(7) 職員研修

職場内研修については、12回 (前年 18 回) 企画し述べ 196 名 (前年 259 名) の職員が参加しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、法人全体での研修は開催することができず、参加人数は大きく減少しましたが、各部署での会議やミーティングを活用し研修を実施しました。必須の研修や各部署の抱えている問題に直結した研修会を開催することで実践に繋がりました。

コロナ禍で、オンラインを導入し外部研修を受講するようになりました。まだ、件数は少ないですが自施設から視聴できる録画による研修等も参加し、各部署に持ち帰り共有できればと考えます。 (別紙：施設内研修実績)

(8) 苦情・要望の対応

相談業務 (職員の態度、説明、情報不足) に対して 1 件の苦情がありました。速やかに苦情処理委員会を開催し原因分析・対応改善策を検討しました。また、定期苦情処理委員会で経過を報告し振り返り、対応が一過性に終わることなく継続できているか確認し再発防止に努めました。

今後も、ご心配やご不安を解消できるように相手の話を聞く姿勢を大事にし、ご意見やご要望を速やかに組織で解決していき、再発防止やサービスの質の向上、信頼関係の構築に繋げていきます。

(9) 防犯・防災管理

総合避難訓練については、火災を想定した通報・避難訓練を実施し、消防署の方から評価・指導を頂きました。また、施設内でできる避難訓練 (火災、土砂)、非常持ち出し訓練、緊急連絡訓練、備蓄食料品の確保等実施しました。

定期的な設備点検は業者の指示を受けながら適切に実施し、不具合があれば速やかに修繕しました。また、職員も避難経路や危険箇所のチェックを行い安全確保に努めました。 (別紙：防災訓練実績報告)

事業継続計画 (BCP) については、施設内でコロナ感染症が発生したため、対応に追われ策定には至りませんでした。次年度も計画的に策定会議を開催し進めていきます。

(10) 広報活動

広報誌の発行については、施設内でコロナ感染症が発生したため、前期に 1 回のみ発行となりました。ホームページについても、タイムリーな更新を目指しましたが、難しく内容の充実が図れませんでした。リニューアルも視野にいて、次年度は、情報発信に力を入れたいと考えます。

(11) 事務部門

- ①物品等のコスト削減の提案に努め、計画的な予算執行に努めました。
- ②介護保険報酬請求については、法令に定められた基準に基づいて適切に請求事務を行い、収益性、信頼性の高い経営を行うよう努めました。
- ③職員が働きやすい環境を整えるため、介護ロボット導入補助金を活用し離床キャチセンサー付ベッドの導入を行い、見守り等の介護業務の負担軽減を図りました。また、介護ロボット ICT 導入補助金を活用し、介護ソフト導入を行い、介護記録等の事務業務の効率化を図り、職員の職場環境の改善に努めました。
- ④介護ソフト導入・運用に向けて各部署と連携を図り、スムーズに導入が出来るように調整を行いました。また、タブレット等の機器の管理に努めました。
- ⑤職員共通の連絡ツールを活用し必要な情報を共有できるように努めました。
- ⑥施設からのお知らせや緊急時の情報を携帯電話へ直接配信するシステムを活用し、ご家族や職員へ迅速に情報を提供するように努めました。
- ⑦コロナ禍で面会制限がある中、ご入居者やご家族が安心して生活が送れるよう、感染対策設備補助金を活用し、本館、新館にそれぞれ面会室を設置しました。また、職員がオンライン研修や会議ができるよう環境整備を行いました。
- ⑧新型コロナウイルス発生時に介護職員、看護職員が迅速に対応できるように、初動対応の物品を準備し、消耗品が不足しないように努めました。また、適正な在庫量になるように確認、調整、見直しに努めています。
- ⑨施設での職員のコロナ検査が適正に行えるように検査キットの管理に努めました。
- ⑩事務業務の効率化を目指し、積極的に事務業務の見直しに努めています。
- ⑪物価高騰やコロナ対応経費に備え、積極的な補助金活用に努めました。
- ⑫適正で透明性のある財務管理に努めました。

(12) 会議・委員会の開催（別紙：会議・委員会開催実績）

法人理念の実現や業務の円滑な運営を図るため、個々の意見を聞き、他職種との連携を図り日常業務に生かすことを目的とし運営しました。

多人数での対面での会議や委員会の開催は自粛しましたが、タイムリーに関係者が集い検討し、速やかに対応を発信するよう努めました。

R 4 年度稼働状況実績集計表

社会福祉法人 松豊会

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	定員	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50.0
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
	介護度 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	介護度 2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
	介護度 3	240	268	269	192	217	196	217	210	209	217	196	217	220.7
	介護度 4	706	725	717	776	775	763	765	693	692	682	615	692	716.8
	介護度 5	453	438	433	446	465	449	515	510	513	529	511	581	486.9
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	請求件数	1429	1462	1449	1445	1488	1438	1528	1443	1445	1459	1350	1521	1,454.8
	稼働率	95.3%	94.3%	96.6%	93.2%	96.0%	95.9%	98.6%	96.2%	93.2%	94.1%	96.4%	98.1%	95.7%
	平均介護度	4.11	4.07	4.07	4.13	4.13	4.13	4.15	4.17	4.17	4.17	4.19	4.20	4.14
短期入所	定員	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8.0
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
	介護度 1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	1.6
	介護度 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0.8
	介護度 3	120	104	82	93	100	102	68	76	19	0	0	0	63.7
	介護度 4	50	0	29	24	44	40	62	42	61	16	20	0	32.3
	介護度 5	33	62	60	67	31	13	0	0	47	37	21	0	30.9
	要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	請求件数	213	166	171	184	175	155	130	118	127	62	41	10	129.3
	稼働率	88.8%	66.9%	71.3%	74.2%	70.6%	64.6%	52.4%	49.2%	51.2%	25.0%	18.3%	4.0%	53.0%
	平均介護度	3.45	3.75	3.87	3.86	3.61	3.43	3.48	3.36	4.22	4.16	4.51	2.00	3.64
特養 ユニット	定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30.0
	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4
	介護度 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	介護度 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	介護度 3	300	310	271	310	310	305	324	314	349	341	272	310	309.7
	介護度 4	244	293	326	310	308	270	265	240	248	248	235	227	267.8
	介護度 5	291	310	271	298	310	300	297	270	258	269	239	302	284.6
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	請求件数	835	913	868	918	928	875	886	824	855	858	746	839	862.1
	稼働率	92.8%	98.2%	96.4%	98.7%	99.8%	97.2%	95.3%	91.6%	91.9%	92.3%	88.8%	90.2%	94.4%
	平均介護度	3.99	4.00	4.00	3.99	4.00	3.99	3.97	3.95	3.89	3.92	3.96	3.99	3.97

R5年3月31日現在入居者	津田の里本館	津田の里新館
平均年齢 男性	83.1歳	86.8歳
女性	88.7歳	87.9歳
平均在所数	1390.2日	1341.8日

R 4 年度稼働状況実績集計表

社会福祉法人 松豊会

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
訪問介護	訪問時間(介護)	231.6	193.5	175.6	170.7	149.9	161.8	151.0	159.1	154.5	134.0	129.1	145.2	163.0
	訪問時間(支援)	134.8	140.6	146.2	144.3	159.8	152.2	149.4	153.0	154.4	134.8	135.6	148.1	146.1
	訪問時間(障がい)	179.8	201.0	218.3	202.8	200.5	185.0	215.3	215.0	191.8	191.8	236.5	233.3	205.9
	訪問時間(合計)	546.2	535.1	540.0	517.7	510.2	498.9	515.6	527.1	500.6	460.5	501.1	526.6	515.0
	実人数	92	101	102	96	103	98	66	101	103	99	90	80	94.25
	常勤換算数	6.80	7.35	7.35	6.35	6.35	6.35	6.35	5.90	5.90	5.15	5.15	5.15	6.18
	1人利用時間	5.94	5.30	5.29	5.39	4.95	5.09	7.81	5.22	4.86	4.65	5.57	6.58	5.56
	1人受持人数	13.53	13.74	13.88	15.12	16.22	15.43	10.39	17.12	17.46	19.22	17.48	15.53	15.43
居宅	請求件数(介護)	71	68	72	69	69	71	69	72	71	72	68	69	70.08
	請求件数(予防)	53	51	55	54	52	47	52	52	52	50	45	44	50.58
	常勤換算数	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50	4.50
	1人受持人数	27.56	26.44	28.22	27.33	26.89	26.22	26.89	27.56	27.33	27.11	25.11	25.11	26.81
	訪問介護利用者	37	37	35	41	42	41	41	45	44	44	49	42	41.5
	事業所内利用者(訪問)	23	20	15	20	22	20	20	20	18	18	18	17	19.3

令和4年度会議・委員会

委員会名	開催日
運営会議	毎月第3水曜日
施設運営委員会	毎月第4火曜日
サービス検討委員会 本館	毎週水曜日
サービス検討委員会 新館	毎週金曜日
入居判定委員会	毎月第4火曜日
安全管理委員会	毎月第4火曜日
介護員会議	毎月第4木曜日 (介護技術研修等を定期的を実施)
西グループ 介護員会議	毎月第4木曜日 (介護技術研修等を定期的を実施)
東グループ 介護員会議	毎月第4木曜日 (介護技術研修等を定期的を実施)
ユニット(1F) 介護員会議	毎月月末 (介護技術研修等を定期的を実施)
ユニット(2F道側) 介護員会議	毎月月末 (介護技術研修等を定期的を実施)
ユニット(2F山側) 介護員会議	毎月月末 (介護技術研修等を定期的を実施)
教育委員会	毎月第3水曜日
苦情処理委員会	毎月第3水曜日
給食委員会	毎月第4火曜日
防災管理委員会	毎月第2水曜日
労働安全衛生管理委員会	毎月第1金曜日
褥創予防対策委員会	毎月第3火曜日
感染症対策委員会	毎月第4火曜日
医療的ケア委員会 (本館)	毎月第3金曜日
医療的ケア委員会 (新館)	毎月第2月曜日

令和4年度松豊会役員会

日時	会議名	参加者
6/15	令和4年度第1回理事会（書面決議）	吉田理事長、理事6名、監事2名、事務局1名
6/30	令和4年度第1回評議員会（書面決議）	吉田理事長、評議員7名、事務局3名
11/14	令和4年度第2回理事会	吉田理事長、理事6名、監事2名、事務局3名
11/29	令和4年度第3回理事会	吉田理事長、理事6名、監事1名、事務局1名
12/19	令和4年度第2回評議員会	吉田理事長、評議員7名、事務局3名
3/13	令和4年度第4回理事会（書面決議）	吉田理事長、理事6名、監事2名、事務局1名
3/30	令和4年度第5回理事会	吉田理事長、理事6名、監事2名、事務局1名
3/30	令和4年度第3回評議員会	吉田理事長、評議員6名、事務局3名

4年度 施設内研修会（実績）

開催回数	日付	時間	研修内容	講師	参加人数
1	4月11.13.14日	10:00~10:30	看取り	津田の里 職員 新館研修委員	新館15名
2	5月19日	17:30~18:30	介護職員のための感染対策マニュアル	津田の里 職員 在宅研修委員	在宅8名
3	5月25日	10:00~10:30	事故防止	津田の里 職員 本館研修委員	本館17名
4	6月20.22.24日	19:00~20:00	食中毒・感染症	津田の里 職員 新館研修委員	新館23名
5	6月24.25.27日	19:00~20:00	食中毒・感染症	津田の里 職員 本館研修委員	本館28名
6	8月31日	17:30~18:30	職員倫理規程・法令遵守	津田の里 職員 在宅研修委員	在宅9名
7	9月15.16.20.23日	19:00~20:00	身体拘束・虐待	津田の里 職員 本館研修委員	本館24名
8	9月26.29.30日	10:00~10:30	事故防止	津田の里 職員 新館研修委員	新館20名
9	11月8日	17:30~18:30	虐待防止	津田の里 職員 在宅研修委員	在宅9名
10	12月15.16.23	10:00~11:00	看取り	津田の里 職員 本館研修委員・看護師	新館20名
11	2月20.22.27日	10:00~11:00	身体拘束・虐待	津田の里 職員 新館研修委員	新館20名
12	3月1・3・6日	19:00~20:00	事故防止	津田の里 職員 本館研修委員	本館3名

2022年度 防災訓練実施報告

月 日	訓練事項	時間	備考
2022年 4月 13日(水)	緊急連絡網を使用した連絡訓練・BCP作成	14:30~15:00	全職員参加・メールは72%既読
	防災管理委員会	15:00~15:30	
2022年 5月11日(水)	消火器使用訓練・機械操作説明・BCP作成	14:30~15:00	11名参加。新規採用職員参加
	防災管理委員会	15:00~15:30	
2022年 6月8日(水)	避難経路確認・清掃	14:30~15:00	6名参加
	防災管理委員会	15:00~15:30	
2022年 7月 13日(水)	土砂災害研修・非常時持ち出し品訓練	19:00~19:30	警戒レベル5想定避難訓練
	防災管理委員会	15:00~15:30	12名参加
2022年 8月 10日(水)	日勤想定避難・通報訓練	14:30~15:00	本館火災発生・利用者不参加
	防災管理委員会	15:00~15:30	職員14名参加
2022年 9月 11日(水)	災害時備蓄食料品点検	14:30~15:00	4名参加
	防災管理委員会	15:00~15:30	
2022年 10月 12日(水)	緊急連絡訓練 総合訓練 <消防立ち合い>	14:30~15:30	地域の方不参加。職員24名参加
	防災管理委員会	15:30~16:00	空の車椅子誘導行う。
2022年 11月9日(水)	夜勤想定避難・通報訓練	14:30~15:00	新館火災発生、抜き打ち訓練
	防災管理委員会	15:00~15:30	職員8名参加
2022年 12月14日(水)	コロナウイルスの為中止		
2023年 1月11日(水)	コロナウイルスの為中止		
2023年 2月8日(水)	施設内危険箇所チェック・避難経路確認・清掃	14:00~15:00	職員2名参加
	防災管理委員会	15:00~15:30	
2023年 3月8日(水)	BCP作成	14:30~15:00	職員3名参加

*コロナウイルス感染が流行り、地域の方との合同の訓練行えませんでした。

*避難訓練を職員に抜き打ちで行いました。今後も継続して行う予定です。

令和4年度 特別養護老人ホーム津田の里本館 事業報告

1. 事業方針

法人理念に基づいた、施設サービスの質の向上に努め、定期的または必要に応じて、個別サービス計画の見直しを行い、支援を受けながら自己決定できるように、各部門及び各職種が連携を図り、「その人らしく」あり続けるための施設サービスを心がけました。

2. 介護部門（本館 多床室）

(1) ご入居者、ご家族の意向を尊重したサービスの提供

施設内で感染入居者が発生した場合には、個別での手紙の準備が難しく、電話にてご様子をお伝えしご家族との情報共有に努めた。

面会については、ご入居者とご家族のストレスの解消が図れるように、オンライン面会や窓越し面会の対応を行ないました。

(2) 居住空間を整え安全で気持ちよく生活して頂ける環境整備

コロナ感染症の発生もあり、感染予防を第一に、ホールのテーブル配置の見直しや定期的な換気、共有場所（トイレ、ホール、ドアノブ等）の消毒を徹底しました。

(3) 各専門職と連携を図り感染症対策と疾病の早期発見、予防に努める。

感染症については、標準予防策の徹底を図り予防に努めましたが、12月には施設内でクラスターが発生しました。この経験を活かし、標準予防策に加えて感染経路別予防策の強化。さらに、専門的研修（防護服の着脱、ゾーニング）を定期的に実施しました。

看護師等と密に連携を図り、高齢者に起こりやすいリスクを予防し、治療に繋がった。

(4) 各委員会を中心に介護員会で研修を行い、介護に携わる職員としての資質と技術の向上を図る。

機能訓練指導員と福祉用具委員が中心となり、福祉用具（スライディングボード等）の安全な使用方法について研修を行い、技術の向上、介護負担の軽減に努めた。また、認知症ケアについても、介護員会を活用し、個々のケース取り上げ研修を実施し、スキルアップに努めた。

(5) 虐待の芽チェックリストを行い、職員の接遇とサービスの質の向上に努める。

チェックリストの項目を目標に掲げ、毎月介護員会で評価を行うことでケアを振り返り、職員一人ひとりがご入居者に敬意を持ちケアが行えるよう努めた。

3. 看護部門

(1) 健康管理と疾病の予防

ご入居者の毎日の体温、血圧、SpO₂、脈拍の測定や意識、呼吸状態の観察を行い、異常の早期発見に努め、医師や介護職と情報共有、連携を図り迅速な対応や受診を行いました。また、胸部レントゲン撮影と定期血液検査(年2回)を行い健康管理に努めました。

(2) QOLの向上について

ご入居者のQOLの向上に向けて、看護師として専門的知識や技術を提供しながら、多職種と共に症状マネジメントを行い、協力してケアを行ったが、ケアに対して、評価、見直しなどのPDCAサイクルの意識が低く、ケアの質を高めていくことが出来なかった。

(3) 看取り

本館3名、新館4名の方の看取りケアを実施した。(前年度 本館6名、新館1名) 看取り開始については、医師やご家族、職員との情報共有を密に適切な時期に開始できるように努めたが、看取り期間が短くご家族と一緒に過ごして頂くことが出来ないケースもありました。看取り実施中は、1週間に1回他職種でカンファレンスを実施して、ご本人やご家族に寄り添った、今できる最善のケアについて話し合いを行い、質の高い看取りケアを目指した。

(4) 感染予防

職員やご入居者の毎日の検温はもちろんのこと、体調不良者がいないか、常に注意し観察しました。また、標準予防策の徹底や防護服の着脱、ゾーニング等の研修を行い、職員全員が感染予防できるよう努めました。特養で新型コロナウイルス感染症のクラスターを発生しました。(入居者35名・職員17名)

初めての経験で、初動対応や感染管理(ゾーニング)、感染者への対応が不十分でまん延を防止することができませんでした。幸い、ほとんどの方が施設での療養で完治されましたが、中には発熱が続いたり、食事や水分が摂り難くなる方もあり、嘱託医の指示で点滴や投薬治療も行いました。

今後は、感染症が発生した場合、看護師を中心に迅速なまん延防止策が講じられるように準備し、実践できるよう研修や訓練を重ねていきます。

(5) 職員の健康管理

職員の病気の早期発見、生活習慣病予防のため、年1回職員健診を実施。(夜勤業務従事者は年2回) 要精密検査者には受診の確認と声掛けを行い、結果は貴谷産業医が見て、「職場配置適正の有無」などを記入されました。

4. 栄養管理部門

(1) ご入居者の健康状態や身体状況に応じた栄養マネジメントを多職種と協力して行い、個人にあったADLの維持・向上に努める。

栄養状態の悪いご入居者には、主治医の指示を仰ぎながら、医務や各部署の責任者と相談しながら食事形態、内容を変更し摂取量の安定が図れるよう努めました。また、摂取量が少ないご入居者には、十分な栄養量が摂れるよう適した栄養剤を提供しました。

認知機能や摂取嚥下機能の低下により食事の経口摂取が困難なご入居者に対して、歯科医師や看護師、介護職員等の多職種と協力し、食事の観察及び会議を行い、経口摂取が維持できるよう支援しました。

経口維持加算の対象の方は本館24名、新館9名でした。うち誤嚥性肺炎で入院されて方は本館2名、新館0名。

(2) ご入居者にふさわしい安全で質の高い食事サービスを提供する。

ご入居者の栄養管理、検食、摂取・嚥下障害等について給食委員会で検討し、食事サービスの向上に努めました。また、行事食として、ご入居者に喜んで頂ける内容や季節の食材を取り入れた献立を組み入れ提供しました。

* 令和4年度の行事食

5月～母の日（お刺身）	6月～父の日（お刺身）
8月～ミニパフェ	9月～敬老会（お刺身）
1月～お節料理	3月～ケーキ

* 行事食以外にも、月に数回、麺類やちらし寿司、炊き込みご飯などご入居者に人気のメニューを取り入れることで、喫食率が向上しました。

衛生管理については、集団給食衛生管理マニュアルに従い実施しました。また、食中毒や手洗いの研修を行い衛生管理体制の徹底にも努めました。

5. 機能訓練部門

(1) 個別機能訓練実施計画書を作成

施設サービス計画書に沿って、個別機能訓練実施計画書を作成し、個別機能訓練並びに生活リハビリ介護を行い、3か月ごとにご家族へ書面にてご入居者の訓練実施状況を説明し同意を頂きました。

訓練計画書の管理を円滑に行うため、回覧印を廃止しました。また、多職種共同制作・情報共有については、事前カンファレンスや記録にて周知を図りました。

LIFE導入を視野に新規ご入居者を中心に、個別機能訓練計画書をLIFE書式に変更し、評価を行いました。また、基本動作能力やADL遂行状況の評価を生活機能チェックリストを活用し行いました。

(2) サービス検討会への参加

サービス検討会議への参加し、ご家族へ訓練内容・実施状況・状態について説明を行いました。

サービス検討会議前に担当ケアマネジャーを中心に多職種と共に、事前カンファレンスを行い、情報共有を行いました。(訓練実施状況・他部署実施状況等)

コロナ感染対策等で、来里が難しいご家族に対しては、計画書を郵送させて頂き同意を頂きました。

(3) 個別訓練・生活リハビリの実施

個別機能訓練介入後、身体状況の一時的な改善やご入居者から満足感や安心感が得られている様子が見られました。実施にあたっては、身体状況に応じて、訓練内容を調整したり、多職種に効果的な介助方法の提案や伝達を行いながら効果が可能な限り持続するようフォローを行いました。

ご入居者の身体状況や基本動作、活動の遂行状況を都度評価したうえで、最適な福祉用具の選定・導入を指定業者と連携・相談しながら行いました。

(4) 集団活動・グループ活動の実施

本館ご入居者を対象に、食前の口腔・嚥下体操の実施、季節行事の一環として、集団体操やレクリエーションを介護スタッフと協働で不定期に実施しました。

経管栄養対象者や昼食前の体操に参加が難しい方を中心に、グループ活動を企画、実施しました。

(5) 短期入所サービスのご利用者への個別機能訓練の実施

基本移動動作レベルの確認、評価を行い必要に応じて環境設定や動作介助のポイントを生活相談員や介護員に提案し、生活動作が安全に行えるよう支援しました。

対象者の状態評価を行った上で、必要となる動作や課題を分析し、居宅ケアマネジャーと情報共有しながら、福祉機器のレンタル依頼や調整を行いました。

6. 生活相談部門

生活の場であることを基本に、個々の心のケアに重点を置き、生活支援業務や相談業務を遂行すると同時に、地域と共にある福祉の拠点となるための地域貢献活動を行いました。

(1) 地域貢献事業

① 地域交流

- ・新型コロナの影響から開催回数及び内容の制限下、野外を会場とした企画が中心となりましたが、感染状況を見ながら小旅行やそば打ち大会が実施され、協働参画することができました。
- ・介護の基礎的講座事業への参画については、コロナ禍で要請がなかったため実施に至りませんでした。

②介護予防への取り組み

- ・松江市の取り組みで行われている「まめなかポイント事業」にも継続して登録しましたが、コロナ禍でボランティア活動の受け入れはできませんでした。

③福祉防災マップの作成

- ・福祉防災マップの見直しを自治会や地区民生児童委員の皆さんと協働で作成しました。

④地域住民への施設開放

- ・コロナ禍で施設開放は自粛しました。

⑤「ふくしなんでも相談窓口」設置事業への取り組み

- ・法人入口に看板を設置、松南第1エリア内へのチラシの配布、明神自治会への回覧、同連絡会発行の機関紙「ワンラブ通信」に法人紹介を寄稿しました。

(2) 家族会の取り組み

- ・コロナ禍で施設での開催はできませんでしたが、ご家族のご意見やご要望を伺うため3回のアンケートを実施しました。第1、2回目のアンケートで頂いたご意見、ご要望について対応が適切であったか等、第3回のアンケート調査で伺い、ご家族の満足に繋がっているかを評価しました。

(3) 入居判定委員会

- ・入居申し込み以外にも、各事業所との連携を密にしながら、速やかな入居受け入れに向けて取り組みました。
- ・短期入所生活介護事業との連携を密にしながら、ロングショート確保と円滑な入居への受け入れに努めました。
- ・本館、新館共に退所者が多かったこと、また、コロナ禍で速やかに受け入れが出来なかったことが要因で、稼働率が低下しました。

(4) 相談援助

- ・コロナ禍でご家族との関わりが制限される中、不安や寂しさを感じておられるご入居者やご家族の思いに寄り添うよう、個々に話を伺ったり、細目にご様子をご家族に報告したりし、ご入居者は基よりご家族も安心して頂けるよう努めた。

(4) 成年後見制度への取り組み

- ・該当事例はありませんでした。

(5) オンブズマン制度の活用

- ・該当事例はありませんでした。

(6) 安全管理への取り組み

- ・毎月の安全管理委員会で、虐待防止、身体拘束廃止、事故・ヒヤリハット事例を検討・分析し、再発防止へ取り組みました。

- ・虐待事例の発生はありませんでしたが、不適切なケアを改善するために「虐待の芽チェックリスト」を活用し、ケアの見直しを行い虐待予防に取り組みました。

- ・身体拘束事例の発生はありませんでした。

- ・事故発生時は、緊急で委員会を招集し、原因分析や対応を協議しました。事故件数は29件（前年対比+11）、行政機関への報告は2件（+2）でした。保険対応は8件（+4）でした。（資料：別紙事故集計結果）

- ・ヒヤリハット件数は145件（-37）と減少しています。事故の増加に反してヒヤリが減少するのではなく、増えなければ事故予防に繋がりません。入居者の重度化に伴い、事故に直結しやすいことも要因と考えられますが、原因分析と対策を強化し、ご入居者に安全な生活が送って頂けるよう取り組んでいきます。（資料：別紙ヒヤリハット・事故集計）

(7) 環境整備

- ・日常の修繕修理や花壇の整備等は実施できましたが、施設全体としての環境整備は体制が整わず実施できませんでした。

令和4年度 短期入所・介護予防短期入所生活介護 事業報告

ご利用者、ご家族様の意向を踏まえケアプランを作成し、利用の都度、ご本人様の様子を聴取し再アセスメントしながら、適切な支援の提供に努め、併せてケアプランの見直しも行い満足頂ける支援の提供に努めました。

コロナ禍であることやショート利用者のニーズの減少に伴い、ロングショートの受け入れの調整を図り、ニーズの充足と稼働率の安定を図りましたが、コロナ感染症発生で、ロングを含めた新規ショートの受け入れ調整に時間を要したため、目標稼働率を達成することはできませんでした。

ご利用者やご家族のニーズを把握と満足度を調査するためアンケート調査を実施しました。概ね満足しているとの回答を頂きましたが、今後も継続しより質の高い支援が提供できるよう取り組んでいきます。

この状況はしばらく続くと予測されることから、各事業所や医療機関との連携を密にし、速やかな受け入れと稼働率の安定を図りたいと考えます。

令和4年度 特別養護老人ホーム津田の里ユニット 事業報告

1. 事業方針

法人理念に基づいた施設サービスの質の向上に努め、定期的または必要に応じて、個別サービスの見直しを行い、支援を受けながら自己決定できるように、各部門及び各職種が連携を取りながら「その人らしく」あり続けるための施設サービスを心がけた。

2. 介護部門（新館 ユニット型個室）

(1) 24時間シートを活用し、ご入居者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアに努める。

状態の変化等あれば、ユニット職員間で情報共有し、24時間シートを適宜修正し、他ユニット職員にも発信しやすいよう活用した。また、新規ご入居者にも、起床時間や睡眠、排泄などの情報を取り、速やかに24時間シートを作成し生活リズムに合わせたケアを行うよう努めた。

(2) ご入居者、ご家族の意向を伺い（モニタリング、サービス検討会開催時）、可能な限りご希望に沿えるよう努める。また、面会や電話、手紙で日常の様子をお伝えする共に、ご入居者ご家族の意向を把握し、信頼関係の構築とケアの向上に努める。

感染予防に留意しながら、少人数でサービス検討会を開催しご家族にも出来るだけ参加して頂き意向を伺うよう努めました。

コロナ禍で、自由に面会して頂くことが出来ず、ご家族の意向や要望に十分に沿えないことも多かったが、毎月の手紙や電話連絡等で日頃の様子をお伝えし、少しでもご家族に安心して頂けるよう努めました。

(3) コロナ禍でも季節を感じられ五感を刺激出来る行事や、趣味趣向に沿ったクラブ活動を開催し、楽しみのある暮らしが提供出来るよう努める。（給食、生活相談員と連携を図り、個別のニーズに出来るだけ沿った、食事、おやつ作り、クラブ活動を計画する）

ユニット毎に、クラブ活動（体操、習字、ゲーム、癒し）や季節の行事（雛祭り、筍ご飯、七夕会、花火大会、クリスマス会、新年会、節分会）を計画し、コロナ禍でも少しでも楽しみを感じて頂けるよう努めました。また、外出支援も再開し、花見や八雲の鯉のぼり、ドライブなど行いました。

(4) 日常生活の中でリハビリやクラブ活動等を通じて、食事・排泄・入浴が少しでも自立出来、残された機能が維持出来るよう努める。（機能訓練指導員と連携を図り、機能低下の予防と心身の活性化に努める。）

毎日、ラジオ体操と嚙下体操を実施しました。また、離床の少ないご入居者

の方にも、散歩等で身体機能の維持と心身の活性化が図れるよう努めました。

機能訓練指導員と連携を図り、ベッドや車椅子上での姿勢を補整し、褥瘡や拘縮予防が出来るよう安全な介助方法の周知を図りました。

(5) マナーアップ、事故防止、研修委員が中心となり勉強会を開催し、専門職としての知識向上とケアの質の向上に努める。(ユニットごとの勉強会や復命研修を行いケアの質の向上を図ると共に、福祉用具の使用、講習会を開催し、ご入居者、職員共に負担なく安全な介護を目指す。)

ユニット毎に定期的に研修の機会を設けたが、コロナ禍で研修等に十分時間を取ることが出来なかった。

接遇や虐待については、マナーアップ委員が中心となり毎月、目標に対し振り返りを行い評価しケアの質の向上に努めました。

(6) エルダー制度を活用して人材育成と定着を図る。

パート職員2名の入職あり、エルダー制度を活用し新人職員の指導を行ったが、コロナ禍でマンパワー不足から、十分な指導が出来ない事もあり、エルダーだけでなく、職員全体でフォローするよう努めた。

令和4年度 津田の里 施設外研修・会議

日時	研修・会議名	参加者
5/24	新型コロナウイルス緊急オンライン説明会	管施設長
6/30	高齢者施設における感染対策	倉谷看護師
7/7	SARAYA基本を学ぶWeb講座(知っておきたい食中毒の基礎)	安達管理栄養士
7/14	SARAYA基本を学ぶWeb講座(感染対策の基礎)	安達管理栄養士・石川管理栄養士
8/3	令和4年度LIFEを学ぶ研修会(第1回)	管施設長・清水主任事務員・福田訓練指導員・安達管理栄養士
8/31	改正育児・介護休業法10月施行準備セミナー(ZOOM研修)	清水主任事務員・杉原事務員・小塩事務員
9/18~9/19・9/25~9/26	令和4年度介護支援専門員専門研修兼更新研修(実務経験者)【専門研修課程II】(ZOOM研修)	川島副主任介護員
10/3~10/4・10/27~10/28	令和4年度介護支援専門員専門研修兼更新研修(実務経験者)【専門研修課程II】	川島副主任介護員
9/9	摂食嚥下食を紐解く	石川管理栄養士
10/31	第53回中国地区老人福祉施設研修大会	福田訓練指導員
11/4	応急手当普及員再講習(ZOOM研修)	濱崎介護係長
11/5	第16回地域医療従事者スキルアップセミナー	湊崎看護師・久保田看護師
12/6	第2回社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症対応研修	管施設長・倉谷看護師
12/8	令和4年度リスクマネジメント研修II	福田訓練指導員
12/12	令和4年度LIFEを学ぶ研修会(第2回)	福田訓練指導員・藤田指圧あん摩マッサージ指圧師
2/17	経営者様が抱える厨房運営の課題、人員不足解消・給食コスト削減(ZOOM研修)	安達管理栄養士
2/22	身寄りがない人への支援ガイドライン研修会	管施設長
3/13	新型コロナウイルス感染症について鳥根県感染対策室からのメッセージ動画視聴	管施設長・吉田所長・倉谷看護師
3/17	高齢者虐待の防止に係る研修会	福田訓練指導員

令和4年度 津田の里ユニット 施設外研修・会議

日時	研修・会議名	参加者
6/17～12/16	介護福祉士実務者研修	池田介護員
7/13～7/21・8/18・ 10/5・11/29	令和4年度島根県認知症介護実践研修「実践リーダー研修」	松下副主任介護員
10/11	令和4年度島根県認知症介護基礎研修eラーニング	秦介護員

令和4年度 事故集計

○令和4年度事故報告書・・・29件 (+11)

() 前年対比

	A (本館)	B (新館)	C (医務)	計
転落	2 (+2)	0 (±0)	0	2
転倒	3 (+3)	1 (±0)	0	4
内出血	1 (+1)	0 (±0)	0	1
骨折	4 (+1)	0 (-2)	0	4
誤薬	5 (+2)	2 (+2)	0	7
火傷	0 (-1)	0 (±0)	0	0
行方不明	0 (±0)	0 (±0)	0	0
服薬管理	0 (±0)	1 (+1)	0	1
誤嚥	2 (+2)	0 (±0)	0	2
紛失	1 (+1)	1 (±0)	0	2
破損	3 (±0)	1 (-1)	0	4
その他	1 (±0)	1 (-1)	0	2
計	22	7	0	29
1. マニュアル・ケア手順				
* 予見可能	19 (+8)	7 (+3)	0	26
* 予見不可能	3 (+3)	0 (±0)	0	3
2. 福祉用具	0	0	0	0
3. 環境	0	0	0	0
4. 利用者・家族	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0

○行政機関への報告・・・2件 (+2)

○保険対応・・・・・・・・・・8件 (+4)

◇本館6件 (骨折3件、裂傷1、義歯破損1件、什器1件「吸引びん」)

◇新館2件 (骨折1件、什器1件「NC」)

令和4年度 ヒヤリハット集計

○令和4年度ヒヤリハット・・・145件 (-37)

() 前年対比

種別/部署	A (本館)	B (新館)	C (医務)	計
転落	12 (-3)	7 (-7)	0 (±0)	19
転倒	10 (-3)	3 (-4)	0 (±0)	13
切り傷	1 (-1)	0 (-2)	0 (±0)	1
内出血	9 (-4)	3 (-5)	0 (±0)	12
打撲	1 (+1)	0 (-2)	0 (±0)	1
骨折	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0
表皮剥離	3 (-8)	1 (-7)	0 (±0)	4
火傷	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0
誤薬	3 (+2)	1 (±0)	1 (+1)	5
異食	7 (-1)	2 (±0)	0 (±0)	9
在宅酸素	0 (±0)	0 (-1)	0 (±0)	0
注入管理	6 (-2)	4 (-1)	6 (+5)	16
注射管理	0 (±0)	0 (±0)	0 (-2)	0
行方不明	0 (-2)	0 (-1)	0 (±0)	0
服薬管理	9 (±0)	4 (-3)	16 (+8)	29
誤嚥	1 (±0)	1 (-1)	0 (±0)	2
義歯管理	0 (-2)	0 (±0)	0 (±0)	0
紛失	0 (-1)	0 (±0)	1 (+1)	1
破損	1 (+1)	3 (+3)	0 (±0)	4
その他	13 (-4)	12 (+5)	4 (+3)	29
計	76 (-27)	46 (-26)	28 (+14)	145
1.マニュアル・ケア手順				
* 予見可能	57(-26)	31 (-36)	27 (+24)	115
* 予見不可能	12 (+1)	8 (+7)	1 (-1)	20
2.福祉用具	1 (±0)	1 (+1)	0 (±0)	2
3.環境	2 (±0)	0 (-2)	0 (±0)	2
4.利用者・家族	4 (-3)	0 (-5)	0 (±0)	4
5.その他	0 (±0)	1 (+1)	0 (-1)	2

令和4年度 ボランティア一覧

合計 73名

○明神住宅自治会・明神さわやか会・行政機関

NO	役職	氏名	ボランティア種別
1	自治会長	野津 好一 様	
2	津田地区民生児童委員	杉本 一真 様	将棋
3	さわやか会会長	外谷 定之 様	
4	〃 副会長	平野 吉郎 様	将棋、習字、写経
5	松江市社会福祉協議会	青山 力 様	

5名

○個人ボランティア

NO	所属	氏名	ボランティア種別
1	明神さわやか会	國政工美子 様	刺し子、貼り絵、おやつ作り(新館、本館)
2	〃	吉田 公恵 様	刺し子、貼り絵(新館)
3	元 入居者ご家族	伊藤 勝子 様	傾聴(新館、本館)
4	アルソア	西村 郁子 様	ハンドマッサージ 化粧(新館、本館)
5		長岡 玲子 様	読み聞かせ(新館)
6		高木 弘子 様	習字(新館)
7		松尾美津江 様	傾聴(新館、本館)

計 7名

○洗濯整理(本館)

No	団体名	氏名
1	明神 火曜日 (中途辞退)	尾原 智子 様
2		外谷 都 様
3		小立 恵子 様
4		足立 茂子 様
5	明神 木曜日	國政工美子 様
6		小島サキ子 様
7		濱 弘子 様
8		片桐 和子 様
9	明神 土曜日	本田富貴子 様
10		松浦 広子 様
11		堀内 節子 様
12		松浦 坦子 様

計 12名

○団体・グループ

No	団体名	種別	人数
1	まつえコールブルー (菊池喜代子様)	合唱 (本・新館)	16名
2	更生保護女性会津田支部 (石田美紀子様)	抹茶(本館)	16名
3	NTTわかば会 (澤 美鈴 様)	古布、牛乳パック 整理(本館)	12名

44名

○新館

No	氏名	種別
1	吉田 公恵 様	洗濯物整理 ウエス・牛乳 パック切り 抹茶会補助
2	奥田 延子 様	
3	原田友紀子 様	
4	安部 美恵子 様	
5	岡田 幸子 様	

計 5名

中途辞退

令和4年度 津田居宅介護支援センター事業報告

新規依頼があった際は、出来るだけ受け入れを行い、件数は前年度より多くマネジメント出来ました。介護予防の方が増えていく中、委託料が安価なので、稼働した分収入が上がらない状態です。ご利用者、ご家族へのアンケート調査を実施いたしました。回収率が低く 66.4%の回収率でした。集計結果としては、好意的な内容の回答が殆どでしたが、このことに満足することなく日々介護者、利用者が安心して過ごせるよう必要な支援、介護保険制度の説明を解りやすく行いたいと考えております。次回のアンケート調査時はお聞きする項目の検討、回収率を上げる方法など検討したいと思います。

オンラインやZOOM研修に積極的に参加し学習の機会を継続し、個々のスキルアップ、制度の情報収集に努める事が出来ました。継続しBCP 計画作成に取り組みいたします。

居宅介護支援センター 研修・会議参加報告

日付	会議・研修名	場所	参加者名
R04.5.26	松江地域介護支援専門員協会 総会	Zoom (在宅会議室)	持田・土江
R 04.6.21、 6.22、6.23、 7.26、7.27、 8.6、8.7、8.8	主任ケアマネ更新研修 (計8日)	くにびきメッセ	持田
R04.7.28	第11回糖尿病対応向上セミナー	Zoom (在宅会議室)	土江、山田
R04.9.07	多職種参加の事例検討会	県営住宅大輪団地1階集会所	吉田
R04.9.15	令和4年度ブロック連絡会	Zoom (在宅会議室)	山田
R04.9.22	在宅支援スタッフの交流カフェ	Zoom (在宅会議室)	土江
R04.10.20	第2回ブロック連絡会「高齢者虐待への対応」	Zoom (在宅会議室)	持田、土江、山田
R04.11.10	松江赤十字病院地域医療勉強会	松江赤十字病院	持田
R04.11.5	第16回地域医療従事者スキルアップセミナー	松江赤十字病院	土江
R04.11.9	第58松江赤十字病院地域医療勉強会	松江赤十字病院	山田
R04.11.10	松江市立病院医療従事者研修会	Zoom (在宅会議室)	土江
R04.11.15	リハビリ介入に係る介護予防マネジメント研修	宇賀の里つばさ	山田
R04.11.16	合同研修会	Zoom (在宅会議室)	持田

R04.12.08	松江市立病院地域連携研修会	Zoom（在宅会議室）	持田、
R04.12.12	令和4年度島根県介護支援専門員協会 ケアマネジメント研修	Zoom（理事長室）	土江、山田
R05.1.23	災害対策、BCP 及び個別避難計画作成 について	Zoom（在宅会議室）	持田、土江、 山田
R05.1.28	令和4年度島根県ケアマネジャー研修 大会	Zoom（在宅会議室） スチックビル	土江、山田
R05.2.14	令和4年度松江市給付適正化研修会	スチックビル	持田・山田
R05.3.16	松江市医師会・松江地域介護支援専門 員協会合同研修	Zoom（在宅会議室）	土江・山田
R05.3.10	令和4年度集団指導	Zoom（在宅会議室）	吉田・持田・ 土江・山田
R05.3.17	高齢者虐待の防止に係る研修会	Zoom（在宅会議室）	土江

*毎週1回定例会を実施し、個々のケース報告、サービス内容の確認等行いました。

令和4年度 津田訪問介護センター 事業報告

ご自宅又はサービス付き高齢者住宅へお住いの方々への身体介護、生活介護を計画書に基づき適正に支援させて頂きました。

ご自宅での看取りを希望され、ご家族に見守られながらご逝去された方、ぎりぎりまで自宅で過ごされ、病院でご逝去された方、看取り形も個々に異なりますが、その方々のケアや訪問時のご様子を職員間で共有することで、職員の質の向上にもつながったと考えます。また、訪問時のご様子を速やかに報告し治療に繋げることにより、重篤な状態にならずに自宅復帰されるケースもありました。

総合事業の対象利用者が増加しており、新規依頼がありますが、職員の退職後の補充が出来ず、新規利用者の受け入れが困難な状況です。また、総合事業の利用者の比率が介護を上回り収入が見合わない状況が生じています。

人材確保が難しい状況では、支援内容に応じて新規ケースの受け入れを検討する必要を感じています。

障害サービス事業の同行援護については、訪問回数は前年より減っていますが、職員の欠員により人件費が減り収支は昨年並みです。

新たに、重度訪問介護で新規ご利用者1名受け入れ行いました。職員育成の為、順次引継ぎし質の向上、スキルアップに努めたいと考えています。

(1) 安心して日常生活が送れる支援

生活スペースの安全性、動線の確保、食事や水分補給など栄養面での助言を行いました。事務所出入り口に消毒用洗面所を設置し支援者も安心して訪問しウイルスを持ち出さず、持ち込まずを徹底し感染者を出さず継続的な営業が出来ました。

(2) 人材育成 自己研鑽

コロナ禍で集合研修会を行うことは難しい状態ですが、個々のケースで担当している職員に対し個別に指導や助言を行いヘルパーも安心して訪問出来、ご利用者にも満足して頂くサービス提供が出来るよう努めました。

(3) 業務の質の向上

人員不足の中、情報伝達や記録に要する時間が多く職員の負担感は大きいです。来年度からは、タブレットを導入し、タイムリーな指示が各ヘルパーに出せるよう従来の業務をパソコンに取り入れることで、重複して手書きの書面を読み書きせず確認が出来るよう取り組みます。

(4) 実習生の受け入れ状況

10/24～28 5日間 学校法人みどり学園 島根総合福祉専門学校

1名

令和4年度・訪問介護センター 会議、研修会参加実績

日付	研修名	場所	参加者
R4. 4. 19	ミーティング(ケースアセスメント、感染対策マニュアル研修)	本館1階 在宅ホール	ヘルパー8名
R4. 8. 31	ミーティング(ケースアセスメント、松豊会職員倫理規定、法令遵守マニュアル)	"	ヘルパー9名
R4. 11. 08	ミーティング(ケースアセスメント、虐待、身体拘束禁止研修)	"	ヘルパー9名
R4. 3. 14	スキルアップ研修、ミーティング、自己評価チェック)	"	ヘルパー9名

令和4年度 津田有償ヘルパー事業報告

総合事業の制度改定（令和1年）により、身体介護（身体を伴う援助）が介護保険内で出来なくなったため、お困りの方もいらっしゃいます。

有償サービス事業での人材確保はしていませんので、訪問サービスの人材で出来る範囲で希望されるご利用者への支援を行っています。

今後も介護保険給付費の増大予防として、介護保険外でのサービスを求められる傾向にあります。自宅での生活を望まれる方についてはニーズがあると考えます。（受診同行、窓ふき、換気扇掃除、入浴介助、外出など）

令和4年度 津田の里駐車場貸付 事業報告

1. 事業方針

社会福祉法人松豊会が運営する社会福祉事業に支障がない限り、その収益を社会福祉事業または、公益事業の運営に充てることを目的とする。

2. 事業報告

8区間の内、7区間を地域の方に貸付しました。収益については、年度末に社会福祉事業の津田の里に繰り入れ、次年度からの運営に充てます。